

学校法人 兵庫医科大学

vol. **212**
2011年8月号

広報

 兵庫医科大学  兵庫医療大学



ささやま医療センター ～開院1周年を迎えて～

最近の主な出来事、トピックス

名誉教授称号授与、平成24年度入試概要、
汕頭大学留学報告会、留学レポート

中央診療施設設置、就任挨拶、地域医療懇談会
兵庫医科大学×兵庫医療大学合同薬学イベント
文部科学省高等教育局長訪問、省エネの取組み
海外便り、多彩人



兵庫医科大学 ささやま医療センター ～開院1周年を迎えて～



ささやま医療センター1周年を迎えて

ささやま医療センター
病院長 福田 能啓

暑中お見舞い申し上げます。

3月に起こった東日本大震災で被災された方、ボランティア活動に尽力された方、多方面にわたって御苦労を重ねておられることと存じます。ささやま医療センターの医療チームも、雪の中、北陸経由で東北入りし、気仙沼の公民館で夜間の診療を担当させていただきました。一日も早く元の生活に戻れることをお祈りいたします。

さて、「兵庫医科大学篠山病院」は、多方面からのご支援を受け、昨年の6月1日に新築・開院することができました。地域医療に貢献するためにスタッフ一同研鑽を重ね、篠山市の僻地診療所である今田、後川、草山、東雲診療所への医師派遣に加えて、篠山市医師会との連携により、どうにか1周年を迎えることができました。これを機に、「篠山病院」から「ささやま医療センター」への過渡期に地域医療を支えてくれたスタッフと平成23年4月から着任したスタッフとにより、意も新たに地域連携を構築すべく、講演会を開催しました。講演会では、センターの意気込みをお話しさせていただき、医師会の先生方からは「連携を是非密に」とのご意見を賜りました。

平成23年4月からは、「地域総合医療学講座」のスタッフと「地域医療」を研修するため、本院からローテーションで来てくれる2年目の臨床研修医が中心になって診療を行っています。プライマリケア、総合診療さらには家庭医療の分野にも活動の範囲を広げてゆくには、あと4-5人の医師が不足であり、若手でそれらの分野

に興味のある先生方の応援を期待しています。

今後は、専門性と総合診療の有機的連携をはかるべく、全人的医療を目指したプライマリケア診療を充実させたいと考えています。ポリクリ実習においても総合診療・家庭医療科の特性を反映した指導を実施します。医師や看護師をはじめとするスタッフの「スキルアップ」のために、勉強会、症例検討会、スキルアップセミナー、学会参加などの機会を設けたいと思います。まだ到達できていない「チーム医療の推進」も重要な課題です。

強豪アメリカをはじめ、各国の大柄な選手と対等に渡り合っていた「なでしこ」達の姿が記憶に新しく残っています。強豪を破ってサッカー女子W杯に優勝した「なでしこジャパン」のことは「奇跡」とも報じられていましたが、ある選手がインタビューで、「一人一人の力を磨きあげ、そしてそれをチームとして機能できたから勝てたのだと思います」と答えていました。つまり、奇跡を起こした背景にはメンバーそれぞれの努力とチーム力という確固たる根拠があったのです。

医療の分野でも同様に「プロフェッショナルでありながら、チームの一員としての自覚を持つ」ことを忘れてはならないと思っています。「なでしこ」の花は夏から秋までずっと咲き続けるので、「常夏」とも書くそうです。夏の暑さにも萎れることなく、野分の強風にもゆらりゆらりと揺れ、折れることのない「なでしこ」のような自然体が地域医療に必要ではないかと思います。スタッフ一同、気を引き締めて取り組んで参ります。なせばなる「なでしこジャパン in 篠山」の気持ちで。



ささやま医療センターは旧篠山病院の北側に新病院棟を建設し、平成22年6月1日に新病院としてリニューアルオープンしました。

ささやま医療センター開院から1年が経過した平成23年6月12日、1年間の経過を御報告するとともに、平成23年4月から医師をはじめとするスタッフが新しく着任したことも併せ、今後のささやま医療センターにおける診療内容の紹介を兼ねた講演会が篠山市市民センターにて開催されました。

地域連携医療講演会



開会挨拶：

ささやま医療センター 病院長 福田 能啓

ご挨拶：

学校法人兵庫医科大学 理事長 新家 莊平
篠山市 市長 酒井 隆明
篠山市医師会 副会長 河合 岳雄
兵庫医科大学 副学長 山本 徹也
「ささゆり」代表(前篠山市自治会長) 松本 正義

シンポジウム・総合討論：

副院長・地域連携・総合相談室長 山本 憲康
篠山市医師会 副会長 河合 岳雄

ご挨拶：

元篠山町長 新家 茂夫

閉会挨拶：

ささやま医療センター 副院長 池田 義和

■「地域連携におけるささやま医療センターの医療連携」

演者：内科部長 川端 正明

■「外科のご紹介」

演者：外科部長 石川 英明

■「ささやま医療センター 救急部門」

演者：救急部長 吉永 和正

■「①インターフェロン治療による肝発癌抑制 ②脂肪肝」

演者：内科部長 下村 壯治

■「地域医療におけるささやま医療センターの医療連携 整形外科」

演者：副院長 楊 鴻生

■「リハビリテーション科」

演者：リハビリ科医長 島田 憲二

■「ささやま医療センター 小児科紹介」

演者：小児科医長 前川 講平



平成21年4月 新病院棟地鎮祭



平成22年4月 新病院棟完成



平成22年5月 竣工記念式典



平成22年6月 診療開始



平成22年6月
リニューアルオープン記念市民公開講座



平成23年2月 居宅介護支援事業所開設

6月 June

4	■兵庫医療大学	兵庫医療大学薬学部・兵庫医科大学病院薬学部合同イベント「絶対に”他”では聞けない!? “クスリ”の話」	P12
11	■兵庫医科大学	後援会平成23年度総会・懇談会・懇親会	
12	■ささやま医療センター	地域連携医療講演会	P2
		看護の日記念イベントPart2「看護のこころをみんなのこころに」	
14	■兵庫医科大学病院	事務職員対象講演会「これからの医療の在り方とは」(本学病院顧問 正木 義博氏)	
15	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「手洗いや確認を止められない! 強迫性障害について」(精神科神経科 助教 林田 和久)	
16	■兵庫医療大学	研究セミナー(リハ学部主催)	
17	■学校法人兵庫医科大学	私立大学連盟 西部地区金曜会(兵庫医科大学で開催)	
18	■兵庫医科大学病院	第5回兵庫医科大学病院 病業連携セミナー	
18・19	■兵庫医療大学	リーダーズキャンプ(学生委員会・学生会: 於グリーンピア三木)	P13
22	■兵庫医科大学	中国・汕頭大学医学院留学成果報告会	P7
23	■兵庫医科大学病院	教職員対象 医療講演会「療養担当規則と保険診療」兵庫県医師会 杉本常任理事「DPCの現在と未来」田辺三菱製薬株式会社 谷澤 正明氏	
	■兵庫医療大学	ボーアイ4大学連携事業(タバコ吸殻回収)	
	■ささやま医療センター	心臓リハビリテーション教室「体調管理方法」	
24	■兵庫医療大学	高等学校・予備校教員対象入試説明会	
27	■兵庫医科大学	学生向け 熱中症予防講習会	
28	■兵庫医科大学	医学・医療講演会「臨床倫理について」(外科学 上部消化管外科 主任教授 笹子 三津留)	
29	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「子供の健康発達と食育」(小児科 助教 高橋 千晶)	

7月 July

8	■兵庫医療大学	全国同時七夕講演会 「七夕の星と天の川」共通教育センター 准教授 加藤 精一	P3
		熱中症予防講習会	
		保健師ガイダンス(看護学部1〜3年生)	
9	■兵庫医科大学	心肺蘇生法実習(1年生対象)	P4
11	■兵庫医科大学	教員向け入試説明会	P4
11〜15	■兵庫医科大学	1年生早期臨床体験実習 I	P3
13	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「腎臓の機能とその障害について」(内科 腎・透析科 教授 中西 健)	
15	■兵庫医療大学	仕事研究セミナー「私の仕事」〜養護教諭としての働き方〜	P4
23	■兵庫医科大学病院	兵庫肝疾患診療連携フォーラム	
27	■兵庫医科大学病院	市民健康講座「カプセル内視鏡を用いた小腸疾患の診断」(内科 下部消化管科 准教授 中村 志郎)	
30	■兵庫医科大学病院	地域医療懇談会(ノボテル甲子園)	P11



7/8 ■兵庫医療大学 全国同時七夕講演会2011 ～七夕の星と天の川～

M棟1階M113講義室にて今年で3回目を迎える「全国同時七夕講演会」が開催され、共通教育センターの加藤 精一准教授が講演を行いました。在学生や、地域の方々にも多く参加いただき、中には3年連続で来られている方もおられました。今年は「七夕」ゆかりの天体をテーマに、神戸の街中でも見ることができる代表的な七夕の星々と、周辺の天体、天の川に関する秘密など画像を交えて解説されました。参加者にとって、夜の帰り道にはつつい夏夜空を見上げたくなる講演だったのではないのでしょうか。



7/11~15 ■兵庫医科大学 早期臨床体験実習 I

1学年次対象の早期臨床体験実習 I が兵庫医科大学病院・ささやま医療センターにて行われました。11日に全体のオリエンテーションが実施され、12日と13日には各病棟に分かれ指導担当看護師の下、実習が行われました。入学間もない1学年次の学生に医療の実際に直接触れる機会を設けることで医学生としての自覚を培い、勉学のモチベーションを高めることを目的としています。最終日の15日にはグループ毎にまとめを発表し、実習で学んだことなどを報告しました。



7/9 ■兵庫医科大学 平成23年度 第1学年次心肺蘇生法実習

平成記念会館アリーナにおいて、兵庫医科大学1年生を対象に平成23年度 第1学年次心肺蘇生法実習が行われました。救命救急センターの久保山講師、寺嶋助教と、日本国際救急救助技術支援会【JPR】よりお越しいただいた10名のインストラクターの方から指導を受けました。



7/15 ■兵庫医療大学 仕事研究セミナー「私の仕事」〜養護教諭としての働き方〜

キャリアデザインセンターにて『仕事研究セミナー「私の仕事」〜養護教諭としての働き方〜』が開催されました。現在神戸市内の中学校で養護教諭として勤務されている先生を講師としてお招きし、保健室の様子や仕事内容、保健室を訪れる生徒の特徴など、実例を交えて分かりやすくお話いただきました。在学生18名が参加し、学生からは「学校という現場での養護教諭の話や生徒との関わりなど、授業ではなかなか聞けない内容ばかりでとても参考になりました」などの感想が寄せられました。



7/11 ■兵庫医科大学 教員向け入試説明会

第2会議室において高等学校および予備校の先生方を対象とした入試説明会を開催し、約30校の教員の方にご参加いただきました。若林教務部長の挨拶の後、関入試センター長から兵庫医科大学の入試概要について、続いて鈴木医学教育センター長からは学習支援制度についての説明を行ないました。説明会の最後は質疑応答を行い、希望者には個別相談・キャンパス見学などを行いました。

TOPICS

オープンキャンパス開催

兵庫医科大学 8月12日(金)
兵庫医療大学 8月6日(土)・7日(日)・20日(土)・21日(日)



兵庫医科大学、兵庫医療大学それぞれでオープンキャンパスが開催されました。8月30日(火)には、兵庫医科大学で、入試相談会が開催されます。(詳細は次号、広報213号で掲載します。)

名誉教授称号授与

平成２３年４月１日付けで、２名の前主任教授に兵庫医科大学名誉教授の称号が授与されました。

塚本 吉彦 前主任教授(生物学)
(平成２３年３月３１日定年退職)

岡村 春樹 前主任教授(先端医学研究所・生体防御部門)
(平成２３年３月３１日定年退職、平成２３年４月１日付けで腫瘍免疫学の特任教授就任)



塚本 吉彦 前主任教授



岡村 春樹 前主任教授

兵庫県下スーパーサイエンスハイスクール 指定校の学生による実験実習が行われました

平成２３年７月２２日・２３日の２日間、兵庫県内のスーパーサイエンスハイスクールとして指定された高校およびその他の高校の理系生徒が、[※]合宿してお互いの交流を図り、学びあうことを目的とした研修会が行われ、そのプログラムの１つである大学での実験実習に兵庫医科大学でも１３名の高校生を受け入れました。

臨床遺伝部 玉置 知子主任教授による「DNAと染色体から知る男女の違い」、医学教育センター 高橋 敬子准教授による「心臓のドキドキを音と線でとらえよう！」のそれぞれのプログラムに参加した高校生は、和気あいあいとした楽しい雰囲気の中にも真剣なまなざしで実験に取り組み、とても満足した様子でした。実習を担当した教員等も、生き生きとした高校生の姿勢に感動し、双方にとって大変有意義な実験実習となりました。

※文部科学省から指定された科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高校



3-2講義室「DNAと染色体から知る男女の違い」



総合研修棟「心臓のドキドキを音と線でとらえよう！」

平成２３年度大学院学生研究助成交付決定

(単位：千円)

番号	専攻	学年	氏名	研究課題	備考
1	医科学専攻 高次神経制御系 リハビリテーション科学	4	森下 慎一郎	造血幹細胞移植患者における移植後早期の血球減少期のリハビリテーションの安全性と効果について	700
2	医科学専攻 器官・代謝制御系呼吸器外科学	4	橋本 昌樹	結腸・直腸癌肺転移における抹消血液中循環腫瘍細胞(CTC)の意義とその有用性について—CTCが結腸癌・直腸癌肺転移症例の新たな手術適応基準となるか—	600
3	医科学専攻 高次神経制御系神経眼科学	4	田片 将士	Glucocorticoid-induced TNF receptor 制御による脳虚血後神経再生機構の解明	500
4	医科学専攻 器官・代謝制御系循環器病学	3	岩破 俊博	IL-18のドキソルピシン心筋症発症抑制に関する機序・有用性に対する基礎的検討	500
5	医科学専攻 器官・代謝制御系口腔科学	3	山村 倫世	口腔癌細胞におけるアクチン重合促進タンパクZyxinの発現および機能の解析	500

平成２３年度公的資金

(単位：千円)

区分	研究課題(プロジェクト)名	所属部署	職名	研究代表者等	事業費	交付(配分) 予定額	備考
戦略的研究基盤形成支援事業	次世代型造血細胞療法の基盤整備	先端医学研究所 細胞移植部門	主任教授	小川 啓恭	11,000	5,500	平成20年度～24年度 文部科学省
戦略的研究基盤形成支援事業	難治性疼痛の分子メカニズム 解明から治療戦略開発へ向けた 研究拠点形成	解剖学 神経科学部門	主任教授	野口 光一	28,000	14,000	平成21年度～25年度 文部科学省
戦略的研究基盤形成支援事業	血管新生統御を基盤としたがん・ 循環器疾患治療法の開発研究 拠点形成	内科学 (循環器内科)	主任教授	増山 理	30,000	15,000	平成22年度～24年度 文部科学省
戦略的研究基盤形成支援事業	アレルギー性炎症:原因の解明と 治療技術の開発	先端医学研究所 アレルギー疾患研究部門	研究所 教 授	善本 知広	30,000	15,000	平成22年度～26年度 文部科学省
大学改革推進等補助金 「がんプロフェッショナル養成 プラン」	6大学連携オンコロジーチーム 養成プラン		学 長	中西 憲司	12,864	12,864	平成19年度～23年度 文部科学省
環境研究総合推進費	大気中粒子状物質の成分組成及び オゾンが気管支喘息発作に及ぼす 影響に関する疫学研究	公衆衛生学	主任教授	島 正之	23,712	23,712	平成22年度～24年度 環境省
学術研究振興資金	抗利尿ホルモンV1a受容体による RAS系制御機構の解明	内科学 (腎・透析科)	准教授	野々口 博史	11,200	3,700	平成23年度 日本私立学校振興・ 共済事業団
合 計					146,776	89,776	

平成２３年度教員研究費助成配分決定

【配分類】1件あたり1,134,000円(2年間で使用する)

研究課題	所属講座等	職名	氏名	所属長
2次元電子系における量子伝導の研究	物理学	准教授	福田 昭	福田 昭
サイトカインの多項目解析システムを用いた炎症性疾患の病態解析と病態進行の予測・診断を可能とする新規マーカーの検索	生物学	准教授	柏村 信一郎	池田 啓子
アミロイドベータオリゴマー誘導アルツハイマー型認知症改善物質の探索	生理学(生体情報部門)	助教	西本 高明	西崎 知之
5XFADマウスの行動実験におけるDCP-LAの薬効の研究	生理学(生体情報部門)	助教	木村 良一	西崎 知之
覚せい剤メタンフェタミンによる依存状態に対する豊かな環境の影響	薬理学	講師	北中 順恵	竹村 基彦
Super Th1細胞からのIL-22産生誘導機構の解析とその病的意義に関する研究	免疫学・医動物学	助教	中平 雅清	中西 憲司
水痘・帯状疱疹ウイルスに対する細胞性免疫の測定と評価	公衆衛生学	助教	大谷 成人	島 正之
毛髪中の多環芳香族化合物の分析方法の開発	公衆衛生学	講師	山本 良二	島 正之
ファイバー置換型腫瘍融解アデノウイルスの開発	遺伝学	准教授A	久保 秀司	玉置 知子
Renal cell carcinoma において高頻度で変異が報告されるPBRM1遺伝子の解析	遺伝学	助教	吉川 良恵	玉置 知子
悪性胸膜中皮腫における病理診断精度の向上に関する研究	病理学(分子病理部門)	助教	宋 美紗	辻村 亨
マウス心筋梗塞モデルによる心不全に対する利尿薬の至適使用法の開発	内科学(循環器内科)	助教	江口 明世	増山 理
IgG4関連疾患における臓器浸潤T細胞の分子生物学的解析；結核菌抗原の関与の解明	内科学(リウマチ・膠原病科)	講師	角田 慎一郎	佐野 統
内視鏡治療後に発生する異時性胃癌のリスク診断の予測	内科学(上部消化管科)	准教授	渡 二郎	三輪 洋人
慢性腎臓病患者の心血管疾患・予後に対する酸化ストレスおよび骨ミネラル代謝の影響	内科学(腎・透析科)	講師A	蓮池 由起子	中西 健
STAI(State Trait Anxiety Inventory)を用いた前立腺癌患者のQOL(Quality of Life)評価	泌尿器科学	助教	田岡 利宜也	山本 新吾
慢性穿孔性中耳炎患者における耳管機能：耳管音響法とサッカリンテストの比較	耳鼻咽喉科学	准教授	三代 康雄	阪上 雅史
術前の経口補水が全身麻酔中の循環および体液動態におよぼす影響	麻酔科学	助教	岩山 幸子	多田羅 恒雄
造血幹細胞移植患者に対するオーラルマネジメントに関する研究	歯科口腔外科学	准教授	岸本 裕充	浦出 雅裕
高血圧性心血管病変に対して超音波技術と炎症マーカーを併用した新規治療戦略の開発	臨床検査部	助教	正木 充	小柴 賢洋
慢性肝疾患の非侵襲的線維化診断および硬度診断法の開発	超音波センター	臨床教授	飯島 尋子	飯島 尋子
腫瘍マーカーの超高感度測定法の開発	先端研(細胞・遺伝子治療部門)	助教	長屋 寿雄	後藤 章暢
脳軟膜由来傷害誘導性神経幹細胞の特性と起源に関する基盤的研究	先端研(神経再生研究部門)	講師	中込 隆之	松山 知弘

中国・汕頭大学医学院留学成果報告会



平成23年3月17日から24日までの8日間、第3学年次の5名と第1学年次の2名、計7名が中国・汕頭大学医学院に留学しました。

6月22日4-2講義室で、中国・汕頭大学医学院留学成果報告会が行われ、留学中の活動内容や、現地で学んだことなどが報告されました。

報告会では、波田副理事長、鈴木副学長からのご挨拶の後、代表の学生1名より、スクリーンに現地での写真等を映しながら発表が行われました。また、将来留学を希望する学生などからの質問には、留学した学生がそれぞれ自らの体験を交えて答えるなど、有意義な報告会となりました。



国際交流センターオープン

平成23年4月、5号館1階に国際交流センターがオープンしました。

事務室には専任コーディネーターが待機しており、海外留学に関する資料や、過去に留学した学生の留学体験記などが自由に閲覧でき、開設当初より、留学や国際交流に興味をもった学生がコーディネーターからアドバイスを受けるなど、大いに活用されています。

また、同センターで英会話をしたり、同センターを留学生との交流の場としてご利用ください。



場 所：5号館1階
開室時間：月～金 8時30分～18時
(お昼休み：12時45分～13時45分)
土(第1, 3, 5) 8時30分～12時30分

「汕頭大学医学院での研修を終えて」

第3学年 島津 葉月



3月17日から24日まで、中国広東省にある汕頭大学医学院へ研修に行かせていただきました。研修が決まってからは、海外での医療を見学できるというなかなかできない体験への期待と、そして不安の毎日でした。

私たちの研修は、1日目：歓迎パーティー・汕頭大学についての説明、2日目：汕頭大学の臨床技能センター・キャンパスの見学、3日目：潮州観光・白内障センターの見学、4日目：農村での医療ボランティアの見学、5日目：ホスピス見学・汕頭大学医学院の学生と交流、6日目：第二病院の見学、7日目：第一病院の見学という日程でした。

農村での医療ボランティアでは、都会との生活水準のレベル差に驚きました。一緒に行った汕頭大学医学院の学生たちは、バイタルの測定、視力検査、簡単なカルテの記入など、同学年ぐらいでしたが既に医療に携わっていて、追いつけるように勉学に励みたいという気持ちを抱きました。

農村での医療ボランティア、ホスピス、口唇口蓋裂センター、白内障センターは、李嘉誠氏の援助により運営されていて、経済的に恵まれない方が無償で治療を受けることができます。李嘉誠氏により創設された汕頭大学の臨床技能センターでは、本物さながらに手術室、ICU、分娩台などが再現されており感銘を受けました。学生のうちから、実際の器具を用いて挿管や分娩などすぐに現場に出られる技術を学べるということは、勉学の場としてすごく恵まれていると感じました。

これらの貴重な体験を忘れず、今後に生かしていきたいと思います。現地でお世話になった先生方、波田副理事長先生、協和会国際交流基金の方々に深く御礼申し上げます。



兵庫医科大学－兵庫医療大学 課外活動交流

平成23年6月25日(土)・26日(日)に、兵庫医科大学と兵庫医療大学との課外活動交流の一環としてバドミントン部、準硬式野球部の交流試合が行われました。両大学の学生がこのような形で課外活動交流を実施するのは、今回が初の試みとなります。

試合の後には懇親会等も開催され、お互いに交流を深めた様子でした。今後も同一種目クラブによる試合等を中心とした活動により、両校の学生間の交流を深めてまいります。



クラブ名	試合日程	試合場所	試合結果		
バドミントン部男子	平成23年6月25日(土)	兵庫医療大学 体育館	×医科大	2-3	○医療大
バドミントン部女子			×医科大	2-3	○医療大
準硬式野球部	平成23年6月26日(日)	兵庫医科大学 鳴尾浜総合グラウンド	×医科大	2-9	○医療大

平成24年度兵庫医科大学入学試験概要

一般公募制推薦入学試験

募集人員	約15名
試験科目	基礎学力検査(数学・外国語・理科)、小論文、面接、調査書
出願期間	平成23年10月26日(水)～11月7日(月)必着
試験期日	平成23年11月13日(日)
試験場	兵庫医科大学
合格発表	平成23年11月19日(土)

大学入試センター試験利用入学試験

募集人員	約10名
試験科目	第1次試験：国語(近代以降の文章のみ)(100点)、数学(数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B)(200点)、理科(生物Ⅰ、化学Ⅰ、物理Ⅰから2科目選択)(200点：各100点)、外国語(英語：リスニングを含む)(200点：250点満点を200点に換算する) 第2次試験：面接
出願期間	平成23年12月12日(月)～平成24年1月13日(金)消印有効
試験期日	第1次試験：大学入試センター試験日 (平成24年1月14日(土)、15日(日)) 第2次試験：平成24年2月15日(水)
試験場	第1次試験：大学入試センター試験受験会場 第2次試験：兵庫医科大学
合格発表	第1次試験：平成24年2月10日(金) 第2次試験：平成24年2月21日(火)

地域指定制推薦入学試験

募集人員	5名以内 注)この選抜では、地域医療に貢献する強い意志と適性等を評価するため、合格者が募集人員に満たない場合がある。その場合、欠員は一般入学試験の募集人員に加える。
試験科目	基礎学力検査(数学・外国語・理科)、小論文、面接、調査書
出願期間	平成23年10月26日(水)～11月7日(月)必着
試験期日	平成23年11月13日(日)
試験場	兵庫医科大学
合格発表	平成23年11月19日(土)

(※出願時点で、兵庫県内に保護者が1年以上在住又は兵庫県内の高等学校等に在籍中及び卒業した者(一浪生)で、将来、当該地域における地域医療に貢献しようとする者)

一般入学試験

募集人員	約80名
試験科目	第1次試験：数学(150点)、外国語(150点)、理科(200点)、小論文 第2次試験：面接
出願期間	平成23年12月12日(月)～平成24年1月17日(火)消印有効
試験期日	第1次試験：平成24年1月25日(水) 第2次試験：平成24年2月4日(土)または5日(日) ※希望日を出願時に選択
試験場	第1次試験：大阪会場：インテックス大阪 東京会場：五反田TOCビル 福岡会場：福岡国際会議場 第2次試験：兵庫医科大学
合格発表	第1次試験：平成24年2月2日(木) 第2次試験：平成24年2月10日(金)

平成24年度兵庫医科大学大学院入学試験概要

平成24年度大学院医学研究科入学試験

募集人員	60名(医学専攻40名・先端医学専攻20名)
出願期間	前期：平成23年8月22日(月)～9月3日(土) 後期：平成24年1月23日(月)～2月4日(土)
試験期日	前期：平成23年9月16日(金) 後期：平成24年2月17日(金)
試験場	兵庫医科大学
選考方法	外国語(英語)、口述試験(面接)
合格発表	前期：平成23年10月7日(金) 後期：平成24年3月9日(金)

過程を経ない学位申請者に対する外国語試験(第59回、第60回)

出願期間	第59回：平成23年8月22日(月)～9月3日(土) 第60回：平成24年1月23日(月)～2月4日(土)
試験期日	第59回：平成23年9月16日(金) 第60回：平成24年2月17日(金)
試験場	兵庫医科大学
選考方法	外国語(英語)
合格発表	第59回：平成23年10月7日(金) 第60回：平成24年3月9日(金)

東日本大震災に係る救護医療チーム派遣 続報

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に係る兵庫医科大学の救護活動は、震災当日夜にDMATを派遣したのを皮切りに、5月までに救護医療チームA～D班、ささやま医療センター支援スタッフ、兵庫医療大学教員らのNPO等を通じた支援を行っており、6月には引き続き救護医療チームE班を派遣しました。兵庫県による医療救護活動は6月29日を持って避難所閉鎖により終了となり、それに伴い本学の救護医療チームの派遣もE班にて終了となりました。

救護医療チーム E班



- 6月1日(水) 救護医療チームの後続となるE班を編成
6月16日(木) 救護医療チームE班を派遣。仙台空港からレンタカーを利用して、午後、石巻赤十字病院内の対策本部においてオリエンテーション後、鹿妻小学校避難所に到着し前班(公立豊岡病院)から申し送りを受ける。
6月17日(金) 避難所にて前班から引き継ぎの後、医療活動(患者数：4名)
6月18日(土) 外部の避難所(根岸会館)を訪問した後、鹿妻小学校避難所にて医療活動(患者数：5名)
6月19日(日) 避難所にて医療活動(患者数：2名)。終了後、後班(赤穂市民病院)へ引き継ぎを行う。
6月20日(月) 避難所にて後班へ引き継ぎを兼ねて共に医療活動(患者数：2名)後、同日夜に帰院し、活動報告

医師◎	宮川 慈子	看護師	加地 靖子
薬剤師	武田 紗季	事務員	小寺 斉人

※表中◎はリーダー

「アイセンター」、「血液浄化センター」、「腎移植センター」の設置について

平成23年5月24日(火)に、「アイセンター」、「血液浄化センター」および「腎移植センター」を中央診療施設として設置することが承認され、下記のとおり各センターの表示の追加、変更が行われました。

アイセンター	1号館5階	眼科手術室	⇒	アイセンター手術室
血液浄化センター	1号館5階	人工透析室	⇒	血液浄化センター
腎移植センター	1号館2階	泌尿器科外来	⇒	泌尿器科・腎移植センター



就任挨拶



アイセンター長 眼科学 三村 治

アイセンターは眼の疾患だけではなく、眼の周囲の組織も含めた広い領域の疾患を総合的に診療するために新たに開設されました。すでに眼科としては2009年度実績で全大学病院を含めたDPC施行病院中で手術実績が全国第3位となっており、いくつかの病気の診療では日本一の治療成績もあげています。今回アイセンターとして規模を拡大することにより、外来、病棟、専用手術室を機動的に活用し、患者様の診療内容をさらに向上させるとともに診察および手術待機の待ち時間を短縮することを目指しております。今後ともアイセンター職員一同、患者様の眼および眼周囲疾患の治療に全力を尽くしますので何卒よろしくお願い申し上げます。



血液浄化センター長 内科学 腎・透析科 中西 健

「血液浄化センター」が設立され、センター長に着任しました腎・透析科 中西健です。17床の血液浄化・透析用のベッドがあり、単に急性・慢性腎不全に対する透析療法だけでなく、炎症性腸疾患や関節リウマチに対する白血球除去療法、自己免疫疾患に対する抗体吸着療法、家族性高コレステロール血症に対するLDL吸着療法、血液型不適合腎移植前の血漿交換、腹水濃縮再注入療法などの血液浄化療法も実施しております。当センターでは維持血液透析療法は原則として行っていないですが、種々の合併症のため当院へ入院された透析患者の治療は随時可能な体制をとっております。今後も血液浄化療法の発展による多様な疾患でのニーズに応えるべく邁進いたします。



腎移植センター長 泌尿器科学 山本 新吾

長年の念願であった腎移植センターが、本年7月1日実働を開始しました。腎移植手術を受けられた患者さん(レシピエント)は、手術により「慢性腎不全」というご病気からは解放されますが、新たに「腎移植後」という状態になります。そして、免疫抑制剤の副作用や拒絶反応と半永久的に戦わなければなりません。また、生体腎移植においては、ご家族(ドナー)から腎臓を提供していただくために、ドナーも腎採取手術と同時に「単腎」という状態になります。腎移植センターとは、このような腎移植に関わるドナーやレシピエントの術前術後の腎機能と全身状態を総合的に管理・サポートさせていただくために、泌尿器科、腎・透析科、小児科など各専門科が協力してより質の高い腎移植治療を行うセンターです。ドナーおよびレシピエントの皆様がより長くより元気に過ごせて行けるよう、また一般の方々にも正しく「腎移植」を理解していただけるような活動を目指したいと考えておりますので、何卒ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

絵画作品展(美術部・絵画同好会)

6月6日～17日の12日間、8号館と1号館の渡り廊下スペースにて、兵庫医科大学 美術部の学生の作品と、教職員の絵画同好会の作品展示会が催されました。作品の中に新家理事長作の絵も飾られ、渡り廊下を通る患者さん、お見舞いの方々と教職員の目を楽しませていました。



第11回地域医療懇談会

7月30日(土)午後4時から、ノボテル甲子園(西宮)において「第11回地域医療懇談会」を開催いたしました。

同懇談会は近隣医師会及び地域医療機関との連携を深めるため、平成6年に第1回を開催し、今回で第11回目を迎えました。医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務など、総勢132名(学外75名、学内57名)のご出席いただきました。

懇談会では、岐阜大学大学院医学系研究科 救急・災害医学分野教授 小倉 真治先生に「救急医療の全体最適化」というテーマでご講演いただきました。

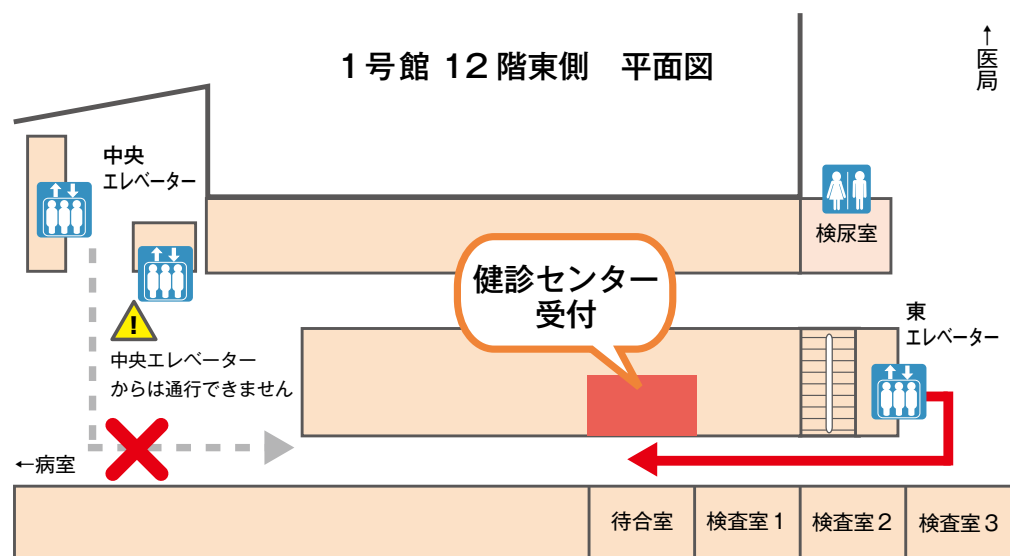
懇談会終了後の懇親会にも多数ご出席いただき、盛会のうちに終了しました。



健診センター移転のお知らせ

平成23年7月29日(金)に、1号館13階から1号館12階東側に移転しました。

※お越しの際は、1号館東エレベーターをご利用ください。(中央エレベーターからは通行できません)



兵庫医療大学薬学部×兵庫医科大学病院薬剤部 合同イベント

「“絶対に”他では聞けない！？“クスリ”の話」を開催

平成23年6月4日(土)、兵庫医科大学にて、「絶対に」他では聞けない！？「クスリ」の話」と題したイベントが開催されました。このイベントは、これから薬学部を目指す高校生に、より一層薬学に興味を持ってもらいたいという思いから、兵庫医療大学薬学部と兵庫医科大学病院薬剤部が合同で企画・実施し、昨年に引き続き多くの方にご参加いただきました。イベント内容は3部で構成され、各部ともに「クスリ」の世界を分かりやすく紹介しました。

【第1部】

「はかつてなんぼ ～百問は一計測にしかず～」

前田 初男教授(兵庫医療大学薬学部：分析化学担当)

成人病や老化現象につながる体内の活性酸素の量を測った結果やサプリメントの効用などを紹介。



「薬剤師が研究する時；がんと免疫の話」

田中 稔之教授(兵庫医療大学薬学部：生体防御学担当)

がんとはどのようなものか、その治療法にはどのようなものがあるかなどのお話。

【第2部】

パネリストに兵庫医科大学病院薬剤部の薬剤師3名をお迎えして、大学病院で働く薬剤師と患者さんの知られざるエピソードをフリートーク形式で紹介し、薬の調製、調剤、服薬、指導など、薬剤師の1日の仕事内容を教えていただきました。また、災害時における薬剤師の仕事として、このたびの東日本大震災後に兵庫医科大学病院医療チームの一員として派遣された薬剤師から、現地での活動についてスライドを用いながら解説がありました。



【第3部】

特別イベントとして事前に参加申込みをされた高校生を対象に兵庫医科大学病院薬剤部の見学会が行われました。普段は見られない無菌調剤室やがんセンター外来化学療法室などを見学していただき、調剤方法や投与する際の注意点などの説明もありました。



今回のイベントでは、「知らなかった薬のことや病気のことがよく分かり参考になりました。」「今日のお話を聞いて、今まで持っていた薬剤師のイメージが変わり、活躍の場が多く、改めて薬剤師になりたいと思いました。」などの感想があり、大盛況のうちに幕を閉じました。

平成２３年度 兵庫医療大学リーダーズキャンプを実施

平成２３年６月１８日(土)、１９日(日)の２日間、課外活動及び学生会活動の主体となる学生会執行部、大学行事实行委員会、公認課外活動団体幹部学生のリーダーを中心に各活動の活性化やリーダーシップの養成を図るリーダーズキャンプが、兵庫県三木市にあるグリーンピア三木で実施されました。

各団体のリーダーである学生たちは、この２日間にグループワークや講義、講演などさまざまなプログラムに取り組みました。

■グループワーク 「ピラミッド」

組織の管理機能(目標設定、計画、指揮、統制)やチームワーク力を高めるプログラムに取り組みました。



■講演 「学生会活動とは」

外部講師をお招きし、他大学の学生会活動や課外活動の状況等を教えて頂きました。



■グループ討議・発表

「学生会活動、課外活動における課題について」各グループで標題について討議を実施。昨年参加した先輩が、ファシリテーターとして参加。最後に全体発表も行われました。



参加した学生達は、学生会活動、課外活動に対する考え方や取り組む姿勢が「受け身ではなく、自ら積極的に動き、学生全体でよりよいものにしていきたい」など、とても前向きに変化したようでした。

このように大学が主体となってリーダーシップの養成を行うのは、新設大学の中では珍しいようですが、今後も引き続き学生の人材養成の一環として取り組んでいきます。

委託事業等の交付状況

(単位：千円)

区分	研究課題名	所属部局	研究者	交付額		合計
				直接経費	間接経費	
独立行政法人 医薬基盤研究所 (保険医療分野における基礎研究推進事業)	PCA- 1 を分子標的とする前立腺癌、膵臓癌治療 創薬に向けた天然物由来シード化合物の単離・構 造決定と構造活性相関情報に基づく化学修飾による最適化	薬学部	青木 俊二	7,827	1,173	9,000
NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議 (地域イノベーション創出研究開発事業)	多様な感染症に適応できるデザインタンパク質 医薬原体の開発	薬学部	芝崎 誠司	10,185	1,528	11,713

平成２４年度兵庫医療大学入学試験概要

推薦入学試験

(専願公募制)

募集人員	薬学部 医療薬学科 ２０名 看護学部 看護学科 ３０名 リハビリテーション学部 理学療法学科 １０名 リハビリテーション学部 作業療法学科 １５名
	試験科目 薬学部：外国語(１００点)、理科(化学)(１５０点)、調査書(５０点) 看護学部：外国語(１５０点)、小論文(１００点)、調査書(５０点) リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科： 外国語(１５０点)、小論文(１００点)、調査書(１００点)
出願期間	平成２３年１０月２０日(木)～１０月２７日(木)消印有効
試験期日	平成２３年１１月５日(土)
試験会場	兵庫医療大学
合格発表	平成２３年１１月１５日(火)

(公募制A日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科 １５名
試験科目	外国語(１００点)、理科(化学)(１５０点)、調査書(５０点)
出願期間	平成２３年１０月２０日(木)～１０月２７日(木)消印有効
試験期日	平成２３年１１月６日(日)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成２３年１１月１５日(火)

(公募制B日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科 １０名
試験科目	理科(化学)(１５０点)、調査書(５０点)
出願期間	平成２３年１１月２１日(月)～１１月２８日(月)消印有効
試験期日	平成２３年１２月３日(土)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成２３年１２月９日(金)

一般入学試験

(前期A日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科 ４０名 看護学部 看護学科 ５７名 リハビリテーション学部 理学療法学科 約２５名 リハビリテーション学部 作業療法学科 約１２名
	試験科目 薬学部：外国語(１００点)、数学(１００点)、理科(化学)(１００点) 看護学部：外国語(１００点)、国語(１００点)、理科(化学、生物から１科目選択)(１００点) リハビリテーション学部 理学療法学科：外国語(１００点)、数学(１００点)、理科(化学、生物から１科目選択)(１００点) リハビリテーション学部 作業療法学科：外国語(１００点)、国語(１００点)、理科(化学、生物から１科目選択)(１００点)
出願期間	平成２４年１月１０日(火)～１月２４日(火)消印有効
試験期日	平成２４年２月２日(木)
試験場	薬学部、リハビリテーション学部：兵庫医療大学 看護学部：神戸ポートアイランドホール(通称：ワールド記念ホール)
合格発表	平成２４年２月１０日(金)

(前期B日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科 ２５名 リハビリテーション学部 作業療法学科 約８名
	試験科目 薬学部：外国語(１００点)、理科(化学)(２００点) リハビリテーション学部 作業療法学科：外国語(１００点)、数学(１００点)、理科(化学、生物から１科目選択)(１００点)
出願期間	平成２４年１月１０日(火)～１月２４日(火)消印有効
試験期日	平成２４年２月３日(金)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成２４年２月１０日(金)

(前期C日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科 １５名
試験科目	理科(化学)(１００点)、外国語・数学(１教科選択、２教科を受験した場合は高得点の１教科を合否判定に使用)(１００点)
出願期間	平成２４年２月３日(金)～２月１３日(月)消印有効
試験期日	平成２４年２月１８日(土)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成２４年２月２４日(金)

(後期日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科 １０名 看護学部 看護学科 ５名 リハビリテーション学部 理学療法学科 若干名 リハビリテーション学部 作業療法学科 若干名
	試験科目 薬学部：外国語(１００点)、数学(１００点)、理科(化学)(１００点) 看護学部：外国語(１００点)、国語(１００点)、理科(化学、生物から１科目選択)(１００点) リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科： 外国語(１００点)、小論文(１００点)、理科(化学、生物から１科目選択)(１００点)
出願期間	平成２４年２月１７日(金)～２月２７日(月)消印有効
試験期日	平成２４年３月３日(土)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成２４年３月９日(金)

大学入試センター試験利用入学試験

(前期日程)

募集人員	薬学部 医療薬学科 ５名 看護学部 看護学科 ５名 リハビリテーション学部 理学療法学科 ２名 リハビリテーション学部 作業療法学科 ２名
	試験科目 薬学部：理科①(化学Ⅰ)、理科②(生物Ⅰ、物理Ⅰから１科目選択)、英語(筆記・リスニング) 看護学部：国語(近代以降の文章)、理科(化学Ⅰ、生物Ⅰから１科目選択)、英語(筆記・リスニング) リハビリテーション学部 理学療法学科：国語(近代以降の文章)、数学①(数学Ⅰ、〔数学Ⅰ・数学A〕から１科目選択)、数学②数学Ⅱ、〔数学Ⅱ・数学B〕から１科目選択、理科(化学Ⅰ、生物Ⅰ、物理Ⅰから１科目選択)、英語(筆記・リスニング) ※外国語、国語、数学、理科の４教科から３教科選択、４教科を受験した場合は高得点の３教科を合否判定に使用 リハビリテーション学部 作業療法学科：国語(近代以降の文章)、数学(数学Ⅰ、〔数学Ⅰ・数学A〕から１科目選択)、英語(筆記・リスニング)
出願期間	平成２４年１月１０日(火)～１月２４日(火)消印有効
合格発表	平成２４年２月１０日(金)

(後期日程)

募集人員	看護学部 看護学科 ３名
試験科目	国語(近代以降の文章) 理科(化学Ⅰ、生物Ⅰから１科目選択)、英語(筆記・リスニング)
出願期間	平成２４年３月１２日(月)～３月２３日(金)消印有効
合格発表	平成２４年３月２８日(水)

平成２４年度兵庫医療大学大学院募集要項

募集人員	看護学研究科 ８名 医療科学研究科(リハビリテーション科学領域) ６名
試験科目	外国語(英語)、専門科目、面接
出願期間	平成２３年９月２０日(火)～９月２７日(火)必着または持参
試験期日	平成２３年１０月１日(土)
試験場	兵庫医療大学
合格発表	平成２３年１０月１２日(水)

文部科学省高等教育局長が本学を視察

平成23年6月29日、文部科学省高等教育局の磯田局長が兵庫医科大学を訪問され、本学の教育及び病院の現状を視察されました。磯田局長は、太城病院長の案内の下で急性医療総合センターの建築工事の様子や、NICU、麻酔シミュレーター室などを大変興味深く見学されました。

また、新家理事長、波田副理事長、中西学長、鈴木副学長、太城病院長、および坂元事務局長との懇談では、医師不足に伴う医学部の増員問題や、医学部の現状の課題などについて話しされ、有意義な情報交換が行われました。



麻酔シミュレーター室



懇談の様子

省エネ・経費削減にご協力ください

西宮キャンパスではここ数年積極的に省エネルギー、経費削減に取り組んでいます。例えば、1号館熱源整備事業の実施、1・10号館換気系統空調機や1・2・5・8・9・10号館空調ポンプのインバータ制御導入、夏休み期間中の5号館のエレベーター1基休止、照明の間引きなどを行い、平成19年度には約2,650万円(光熱費の5%)に相当する省エネ・経費削減を実現しました。

平成23年度は以下のような取り組み項目を設定し推進しております。全教職員が確実に実施くださるようお願いいたします。

- 1

1・2・8・10号館の照明の減灯
- 2

1・2・3・5・8・9・10号館教職員用トイレのウォシュレットの低温設定
- 3

事務・管理部門の事務室の昼休み消灯
- 4

1号館屋上看板照明の消灯
- 5

冬・夏季の空調省エネ設定を確実に守る
- 6

不在時の空調停止と消灯を行う
- 7

パソコンの省電力設定を行う
- 8

2フロア以下の昇りはエレベーターを使用せず、階段を使う(下りは可能な限り階段を使用する)
- 9

職員トイレの退室時の消灯(こまめに消しましょう)
- 10

休憩室・当直室等の退室時の消灯と空調停止(つけっ放しは禁止です)
- 11

学内では使用済み封筒を利活用(新しい封筒は角1:12円、角2:7円、角1マチ付:57円、角2マチ付:47円、長3:4円、長4:2円、カラー封筒の場合はそれぞれ約2倍の経費がかかります)
- 12

グループウェアを積極的に活用し、紙での連絡通知文書を極力廃止(グループウェアを定期的に確認してください)
- 13

コピーの削減、会議での配布資料を極力削減(グループウェア・学内ネットを活用)念のためのコピーは止める
会議資料の削減
もったいない精神を常に持つ
- 14

事務用品を極力購入しない
気軽に事務用品を購入していませんか?
本当に必要ですか?

これらの項目は一人ひとりの心がけ・行動の積み重ねが大きいですので、率先して取り組んでいただきますようご協力をお願いします。

規程等の制定・改正・廃止 (規程等の全文は学内ネットに掲載)

No.	項 目	制定・改正・廃止の趣旨	制定・改正・廃止日
1	育児休業規程	これまで規程の制度適用が困難であった交代制勤務者を、制度適用者として調整するため改正。	平成23年7月1日
2	兵庫医科大学学則	①平成24年度入学生より学納金年額30万円減額及び、②寄付講座「実践医療コミュニケーション学講座」開設のため改正。	平成23年7月26日
3	兵庫医科大学給与規程	恒常的に運用されている諸手当について、整備・規定化を行うため改正。	平成23年8月1日
4	技術職員及び事務系職員等の給与に係る臨時措置	恒常的に運用されている諸手当について、給与規程にて整備・規定化を行うため廃止。	平成23年8月1日
5	給与規程の運用について	給与規程の改正に伴う条文修正のため改正。	平成23年8月1日
6	臨床准教授及び臨床講師の年俸に関する内規	同上	平成23年8月1日
7	退職者給与内規	同上	平成23年8月1日
8	非常勤者給与内規	同上	平成23年8月1日
9	進学休職取扱内規	同上	平成23年8月1日
10	育児休業規程	同上	平成23年8月1日
11	介護休業規程	同上	平成23年8月1日
12	兵庫医科大学大学院学則	従来の「生化学」から独立した授業科目として「生物有機化学」を設置するため改正。	平成24年4月1日
13	兵庫医科大学病院臨床研修医規程	研修医の定員に関して、厚生労働省通知に基づき、確定方法が変更するため改正。	平成23年6月7日
14	クリニカルパス推進委員会規程	協議事項と委員の構成員の一部変更を行ったため改正。	平成23年6月7日
15	薬事委員会規程	医療安全管理と診療現場でのニーズおよび採算性を重視するべく、委員会委員に看護部及び病院事務部の代表を加えるため改正。	平成23年6月21日
16	兵庫医科大学病院から兵庫医科大学ささやま医療センターへの期限付きローテーション勤務にかかる取扱要領	ささやま医療センターの助産師及び看護師不足に対する兵庫医科大学病院からの人的支援として、期限付きのローテーション勤務体制を整備するため制定。	平成23年7月1日
17	救命救急センター運営規程	目的、業務内容等を明確に規定するため制定。	平成23年7月19日
18	核医学・PETセンター運営規程	同上	平成23年7月19日
19	医員及び病院助手に係る勤務時間内の兼業許可基準について	兼業規程改正に伴い廃止。	平成23年9月1日
20	兵庫医科大学ささやま医療センター期間契約雇用職員就業規則	兵庫医科大学及び兵庫医療大学における期間契約雇用職員就業規則等が制定されたことに伴い、篠山キャンパスにおいても同規則等を規定するため制定。	平成23年8月1日
21	兵庫医科大学ささやま医療センター期間契約雇用職員就業細則	同上	平成23年8月1日
22	兵庫医科大学ささやま医療センター期間契約雇用職員給与規程	同上	平成23年8月1日
23	兵庫医科大学ささやま老人保健施設期間契約雇用職員就業規則	同上	平成23年8月1日
24	兵庫医科大学ささやま老人保健施設期間契約雇用職員就業細則	同上	平成23年8月1日
25	兵庫医科大学ささやま老人保健施設期間契約雇用職員給与規程	同上	平成23年8月1日
26	兵庫医療大学給与規程	事務組織の職制と役付手当に差異が生じており、現状に合わせるため改正。	平成23年8月1日
27	兵庫医療大学大学院における大学院設置基準第14条(教育方法の特例)に係る運用内規	給与規程の改正に伴う条文修正のため改正。	平成23年8月1日
28	兵庫医療大学学則	平成24年度以降の入学生から、休学期間中の在籍を担保する在籍料を制定するため改正。	平成24年4月1日
29	学校法人兵庫医科大学知的財産ポリシー	学校法人として兵庫医療大学を包含して規定するため制定。	平成23年6月7日
30	学校法人兵庫医科大学発明規程	同上	平成23年6月7日

No.	項 目	制定・改正・廃止の趣旨	制定・改正・廃止日
31	発明委員会規程	学校法人兵庫医科大学発明規程制定に伴う委員会規程の制定	平成23年6月7日
32	学校法人兵庫医科大学事務組織規程	①医事業務の円滑化を図るため、医事課を「医事課」と「診療支援課」に再編すること、②創立40周年記念事業募金活動を組織的に推進するため、財務部募金推進課を総務企画部に組み入れることとして改正。	平成23年7月19日
33	学校法人兵庫医科大学監事監査規程	経営責任を意識したガバナンスの強化を行うべく、監事機能を改善するため制定。	平成23年7月26日
34	学校法人兵庫医科大学監事会要領	同上	平成23年7月26日
35	国内長期出張取扱内規	帰学後3年未満に自己都合で退職する者に対する退職金算定の取り扱いを変更するため改正。	平成23年8月1日
36	学校法人兵庫医科大学旅費取扱要領	学校法人兵庫医科大学旅費規程及び同旅費細則が制定されたことに伴い、西宮・神戸・篠山キャンパス間の旅費の取り扱い及び自家用車等の使用の取り扱いを定めるため制定。	平成23年8月1日
37	学校法人兵庫医科大学兼業規程	可能な兼業、兼業対象者及び兼業可能時間等を改めて規定するため改正。	平成23年9月1日
38	学校法人兵庫医科大学営利企業役員等兼業審査委員会規程	兼業規程改正に伴い、営利企業兼業についての審査機関を設置するため制定。	平成23年9月1日

■兵庫医科大学 ■兵庫医科大学病院 ■ささやま医療センター ■ささやま老人保健施設 ■兵庫医療大学 ■学校法人兵庫医科大学

学校法人兵庫医科大学

学校法人兵庫医科大学基金 状況報告

本学校法人は、平成21年4月1日に学校法人兵庫医科大学基金を創設し、継続的な募金活動を開始するとともに、基金の活動を支援する組織として学校法人兵庫医科大学医兵・萌えの会を設け、その会員の皆様から会費を寄付金のかたちで募り、基金の運営に寄与することとしております。

寄付活動を開始して以来、患者様をはじめ、後援会会員、緑樹会会員、名誉教授、退職者等は言うに及ばず、協力医療機関や関連企業等の幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方からご寄付いただきました貴重な浄財は、教育・研究環境の整備や学生への奨学金等の支援を通じて、社会への貢献・還元のために使用させていただきます。

今後とも引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(募金推進室)

H21.1.1～23.6.30

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	148件	29,355,000円	204件	15,837,498円	352件	45,192,498円
入 金	146件	29,205,000円	203件	15,717,498円	349件	44,922,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H23.4.1～23.6.30

企業等法人(5法人)	教職員(1名)
(ご芳名のみ記載) 有限会社 宝塚新樹園様 株式会社 スズケン様 兵田印刷工芸株式会社様 三日月建設株式会社様 サンベビー株式会社様	(ご芳名のみ記載) 波田 壽一様
関連病院等(1法人)	その他個人(13名)
(ご芳名のみ記載) 社団法人日本海員救済会 神戸救済会病院様	50,000円 玉木 真澄様 50,000円 玉木 明美様 50,000円 金城 泰二様 (ご芳名のみ記載) 田中 文子様 天王寺谷 裕子様 湯浅 知子様 勝木 義人様 天王寺谷 貴様 永岡 玲子様 匿名 4名

私たちの地域、私たちのフィールド

西宮、神戸、篠山を中心に、観光スポット、イベント、歴史、ニュース、豆知識などを紹介します。

貴重な恐竜化石が次々と発見！ 篠山層群

平成23(2011)年7月15日、兵庫県篠山市の白亜紀前期の地層である「篠山層群」(約1億1千万年前)から、鳥類に近い小型恐竜「デイノニコサウリア類」の化石が見つかったと発表されました。デイノニコサウリア類は、二足歩行する羽毛が生えた恐竜と考えられており、国内では平成19(2007)年に福井県勝山市で発見されたものに次いで2例目。前脚部分がほぼ完全な状態で見ついていることから、鳥類への進化を解明する貴重な発見と期待されています。

篠山層群からの恐竜化石発見は、平成18(2006)年、植物食恐竜ティタノサウルス形類(「丹波竜」と呼ばれている)の肋骨部分などが見つかったのが最初です。その後の「兵庫県立 人と自然の博物館」による発掘調査で、国内最古級の哺乳類の化石、国内初となる角竜類の化石などの恐竜化石だけでなく小型動物の化石が見つかるなど、世界的にも注目を集めています。

写真提供：兵庫県立 人と自然の博物館(兵庫県三田市) <http://hitohaku.jp/>



発掘されたデイノニコサウリア類の化石



デイノニコサウリア類の想像模型(徳川広和さん作)

多彩人 “人形作りを愛する”多彩人

兵庫医科大学
篠山事務部 医療介護事務課
中村 光子さん

篠山事務部医療介護事務課の中村光子さんは、4年ほど前から「木目込み人形」作りに取り組んでいる。

「木目込み人形」とは、木などで作られた人形に、衣服のしわや模様の形に本体に筋彫りを入れ、筋彫りにヘラなどで布の端を押し込んで衣装を着ているように仕立てた人形をいう。この筋彫りに布の端を押し込む動作を「木目込む(決め込む)」ということから、木目込み人形と呼ばれている。

たまたま目に入った木目込み人形教室の案内に掲載されていたお雛様の人形が可愛く、自分でも作ってみたいと思ったことが、活動のきっかけだそう。



最初は他の参加者が次々と完成させて帰っていく中、自分ひとりだけ四苦八苦しながらの作業だったが、その分出来上がった人形に愛着が湧き、もっと作ってみたい!という気持ちから定期的に教室に通うようになったのだとか。

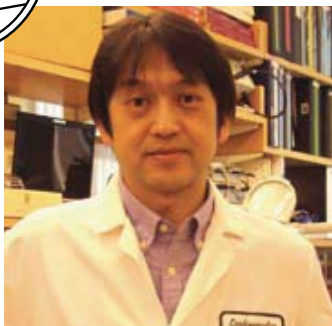
これから作ってみたい作品は、結納の際に使用する高砂人形で、これは娘さん用。難しそうだけれど挑戦してみたいとのこと。雛人形や端午の節句の兜、干支の人形など、これまでに制作した数々の作品はお孫さんができたとき用。ちょっと気が早すぎるかなと思いつながらも、プレゼントしてあげたら喜んでくれるだろうと今から楽しみにしている。

ささやま医療センターでの勤務になってからは、四季の移り変わりや自然そのものの美しさをこれまで以上に感じられるようになり、木目込み人形のような古き良きものが、よりいとおしく感じられるなど、忘れていた感覚を思い出したような気がする、笑顔で語ってくれた。



人形作りの他に苔玉作りにも挑戦しています。「家にある苔玉の中で、お母さんが作ったものが一番可愛い」と、いつもは辛口の娘にも誉め言葉をもらいました!

さまざまな分野で才能を開花させている、極めて、アクティブに活動している“多彩人”の情報をお待ちしています。
自薦・他薦は問いません。総務企画部広報課までご連絡ください。＜電話：0798-45-6655 メール：kouhou@hyo-med.ac.jp>



よしおか じゅん
吉岡 淳

略歴

平成6年 兵庫医科大学卒業
平成13年 大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了
米国心臓核医学会若手研究奨励賞受賞
ハーバード大学医学部研究員
平成14年 米国心臓協会フェロシップ受賞
平成19年 ハーバード大学医学部インストラクター
平成20年 米国心臓協会サイエンティストデベロップメントアワード受賞
平成21年 ハーバード大学よりフランス国立保健医学研究所(INSERM)へ出向
平成22年 現職

Jun Yoshioka, MD, PhD, FAHA

Instructor in Medicine, Harvard Medical School

Associate Biologist, Department of Medicine, Brigham and Women's Hospital

学生時代に苦手な科目が今は一番興味を

学生時代に生化学は最も嫌いな科目の一つであったにもかかわらず、現在、私は生化学的な手法を用いた研究に興味を持っています。1920年代に活躍した生化学者で、後にノーベル医学賞を受賞したオットー・ワールブルクのお話をご存知でしょうか。学生時代に当時の生化学教授でいらした斉藤先生の講義で聞いた覚えはありましたが、最近になるまで全く気にも留めていませんでした。ワールブルクは癌の成因について、仮説というよりも強い信念を持っていました。それは、癌は細胞の呼吸の乱れによって起こるというものです。ここでいう呼吸とは、私達が息を吸ったり吐いたりする事ではなく、細胞が酵素を使ってブドウ糖を燃やしてエネルギーを作る事を意味します。つまり癌化した細胞では解糖系と呼ばれる生化学的なサイクルが亢進していて、ワールブルクはこの事が酸素や栄養分の少ない環境でも癌細胞が増え続ける原因と考えたわけです。

私は癌の研究者ではないのですが、ふとしたきっかけでこの仮説にとっても興味を持つようになりました。そのきっかけというのは、私が作製した遺伝子欠損マウス(ビタミンD依存性発現蛋白が欠如したマウス)は、このワールブルク効果を利用して、心臓を虚血障害から守っている事を突き止めたからです。前述したとおり癌細胞は健常の細胞に比べて、酸素や栄養分が少ない環境に適応して生き続ける事が出来ます。一方、心筋梗塞や狭心症は、心臓への酸素や栄養分の供

給が妨げられる病態です。私の作製したマウスでは、このワールブルク効果が亢進しているために、実験的に狭心症を引き起こしても心臓への障害は少なくてすむのです。この事は、癌細胞が死にくいという機序を逆手にとって、心臓を心筋梗塞から守れる可能性を示唆しています。今後、この知見の研究がさらに進み、心臓への治療に役立てばと思っています。

留学について思う事

私は比較的長期に外国での勉強をして参りましたが、最近のインターネットによる情報交換のスピードの速さを考えると、海外留学をするという意義が薄らいできているように思います。ただ一つだけ良い点を強調するとすれば、留学によって多様な人達と出会い、人的ネットワーク(組織、恩師、友人、仕事仲間)を構築する事ができ、それがその後の様々な共同活動の手助けとなる事です。それは何も外国を網羅するグローバルなネットワークという意味ではありません。私がハーバード大学でこれまで働いてきて最も良かった事は、同じ施設に留学された日本各地の医学部の先生方や研究者達と懇意になれた事です。その事は、自分にとって最も大切な宝だと思うのです。

文を結ぶにあたり、兵庫医科大学の後輩の先生方が、今後、海外、国内を問わずいろんな場所に留学に限らず積極的に参加されて、人的ネットワークを広げられる事をお勧めいたします。



ハーバード大学で知り合った現自治医科大学准教授の新保昌久先生と学会場にて再会。今でもかけがえのない親友です。



同じくハーバード大学で知り合った現コーネル大学准教授のヤン・ラマディン先生とも親友として共同研究を続けています。



大学探訪

ささやま医療センター玄関ホール

平成22年6月に開院したささやま医療センターの玄関ホールでは、地域の方や患者さんが参加するイベントが多数開催され、交流の場として広く利用されています。

ホールには自動演奏つきのグランドピアノが設置され、イベントの際にはその音色が患者さんをはじめ病院を訪れる皆さんを楽しませています。

また、ホールに配された大きな窓からは、中庭からの暖かな光が差し込み、ホールいっぱいを照らしてくれます。

学校法人兵庫医科大学

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解



兵庫医科大学



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL:0798-45-6111(代)
http://www.hyo-med.ac.jp/(大学)
http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/(病院)
http://www.corp.hyo-med.ac.jp/(法人)



兵庫医療大学

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
TEL:078-304-3000(代)
http://www.huhs.ac.jp/



兵庫医科大学
ささやま医療センター

〒669-2321 兵庫県篠山市黒岡5番地
TEL:079-552-1181(代)
http://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/

学校法人兵庫医科大学広報

発行月・VOL/2011年8月号・VOL.212

発行日/平成23年8月25日

発行/学校法人兵庫医科大学 総務企画部 広報課

印刷・製本/株式会社ゼネラルアサヒ